

EVENT MARKETING 95

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL.03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



TOP INTERVIEW

株丹青社
代表取締役社長

小林 統 さん

考えるな!感じるろ!がいっぱい



取材先でインタビュー相手が口を揃えるのは、人を育てることの大切さと難しさ。会社の後輩や部下だけでなく、お世話になった業界への恩返しと、他社の若手にもそのノウハウを惜しげもなく公開する人も多い。その熱心さは、成功者に高潔な人が多いというだけで説明できるだろうか。

進化学の分野には利己的遺伝子論という考

え方があり、人間や動物は遺伝子を次の世代に伝えるための乗り物に過ぎないという。人の考えや感情も、電気信号や神経伝達物質による化学反応という遺伝子ラスポス説だ。

現代科学だけでなく、「あの世には何も持っていないんだから」といった人生訓や、人間の最終的な欲は、自分が死んだ後もその考えやイズムを後世に残すこと、という話もある。

後進育成は本能的欲求でもありそうだ。

そして、教育が難しいのではなく、難しいものほど教える価値が高く、教えたくなるのではないかと。マニュアルを作って「はい、おしまい」でなく、厳しい修行を伴う秘伝のようなものを伝えたいという気持ち。映画「燃えよドラゴン」でブルース・リー演じる師匠が、弟子に指導する際に放った「考えるな!感じるろ!」の言葉。

表層に捉われずに、本質を理解しろという意味だろう。

イベントは文字では伝わらない体験や想いが交わる場所。6月28日から開催されるLIVEntにはイベント主催者の想いを伝えるためのアイデア・ツールが集まる。今号の特集では同展のみどころを事前にご紹介する。(本紙編集部：田中力)

オンラインでも オフラインでも、

ビジネスイベントのお悩みは イベントレジストにお任せください!



申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



イベントレジスト株式会社
https://eventregist.com

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com



LIVeNT^{イベント}2023 の歩き方

—「イベント総合EXPO」「ライブ・エンターテインメントEXPO」「eスポーツビジネスEXPO」—

ライブ・エンターテインメント、イベント、eスポーツビジネスの総合展「LIVeNT(イベント)」。
今特集では、復調してきたイベント需要への期待(参加者の声)と、出展される製品・サービスの
情報紹介、そして主催者へのインタビューから、ライブ・イベント市場のいまをお届けする。

【来場者の声】

「LIVeNT(イベント)」には、全国からプロモーターや音楽事務所、演出会社、企業の宣伝・販促やイベント企画会社、eスポーツ主催者や施設などが来場する。どのような情報やサービスを探しているのだろうか。前回来場者の声や、今回来場予定の声からニーズを探る。

株式会社セレスポ

オンラインイベント企画のサービス中心に見て回った。WEBで見ただけでは実感が湧かないので、実際に体験できる機会はありがたい。

株式会社デジタルプラス

LIVeNT(イベント総合EXPO)は関連産業における最大の情報収集・商談の場として毎年注目しています。今年はどうなるか楽しみます。

「LIVeNT2023」開催概要

会期：2023年6月28日(水)～30日(金)
会場：東京ビッグサイト(東展示棟)
時間：10:00～17:00
主催：RX Japan 株式会社
構成展示会：ライブ・エンターテインメント EXPO/ イベント総合 EXPO/
eスポーツビジネス EXPO
併催展：Japan Sports Week/
自治体・公共 Week/
レジャー&アミューズメント EXPO (AMLEX)

東武トップツアーズ株式会社

イベント開催時に必要な製品・サービスを見に行きた。販促品から照明機材まで、複数の製品を一度に比較検討できた。コロナ対策もしっかりしていたので安心して回れた。

株式会社よみうりランド

イベント開催に必要な製品や、集客につながるサービスなどを探しに来場。やはりリアルな展示会でないと製品やサービスの使い方などわからないので、参加して良かった。

【出展者紹介】

「LIVeNT2023」のなかでも「イベント総合 EXPO」出展者の情報を中心に紹介する。
*各出展者のタイトル上の数字はブース番号

21-12

株式会社ジールアソシエイツ

空間をコアとする『体験設計』



空間をコアとする、クリエイティブカンパニー「ジールアソシエイツ」。“体験”に特化したハイブリッド(リアル&デジタル)プロモーションの企画・制作・開発

ジールアソシエイツは「空間をコアとする、クリエイティブカンパニー」である。

イベントプロモーション・展示会・商空間・配信・動画制作・オンラインプラットフォームの企画、デザイン、制作、開発を行っており、面白い企画を考える企画力、他と差をつけるデザイン力、実際にデザインを実現させる制作力が強みである。

<導入実績>

「アニメの〇周年記念展」、「超大人気コンテンツの屋外イベント」、「医療、化粧品、車、技術、サービス系など様々な企業の展示会」、「IPコンテンツのポップアップストア」、「e-sports関連の商空間の内装」、「ビジネスパーソン向けのオンラインイベント」など

▶ イベント総合EXPO

#イベントの企画・デザイン



<担当者からのメッセージ>

株式会社ジールアソシエイツは、常に話題性の高い企画や空間作りに挑戦しています！普通のことにはやりません。だからこそ、面白さや変化を求め、そして新しいアイデアを探している方々は、ぜひ私たちのブースにお越しください！
(マーケティング局 田中 勇輝)



LIVeNT^{イベント}2023 内

第10回 イベント総合 EXPO @東京ビッグサイト

2023.06.28(水) - 30(金)

イベント開催に必要な 「企画」「機材」「会場」「遊具」 など、多数出展!

【無料】入場チケットの申込み、展示会の詳細は

イベント EXPO



皆様のご来場を心よりお待ちしております!

問合せ先：RX Japan株式会社 イベント総合EXPO事務局 TEL：048-233-9478 mail：event-week.jp@rxglobal.com

19-12

株式会社フジヤ 展示会・イベント総合代理店



ブースイメージ(2小間)

『展示会・イベント総合代理店』として、展示会への出展、イベント開催などを成功に導くノウハウを提案。95年の歴史で培われた知恵と技術でクライアントの課題解決、目的達成に向けたトータル的にサポート。さらに、SDGsの取り組みとして、森林資源の循環利用をした“木になるプロジェクト”を推進中。地球にやさしい「フジヤサステナブルプロダクツ」を紹介。

▶イベント総合EXPO

- #「売れる」展示会
- #トータルサポート
- #サステナブル

<導入実績>
「第3回大阪・関西万博 開催支援EXPO」
フジヤブース

<担当者からのメッセージ>
年間 10,000 件以上の展示会ブース施工、イベント企画・運営の豊富な実績に加えて分析をもとにしたプロモーション戦略を行い、御社の出展をバックアップします。
(第1 イベントコミュニケーション事業本部 セールスマーケティング事業部 降幡 恵)

20-32

株式会社ディモルギア 成功する展示会出展をサポート



導線シミュレーション
ホール入口から進んできた来場者様に、自社ブースがどのような見え方をするのかという点を確認でき、展示台や看板、展示物の向きの微調整など細かな部分も抜かりなくチェック可能です。



アテンドシミュレーション
自社ブース周辺の通路の人の流れや量を会場構造から逆算し、ご来場者と案内スタッフの動きをシミュレートすることで、ブース内外での最適なアテンドストーリーを導くことが可能です。



ブースデザイン① 環境配慮・ナチュラル系ブース
フェイクグリーンや植栽をアクセントに、全体的にナチュラルで温かみのあるデザインです。

展示会ブースのパス図面を3D動画でシミュレーションできるシステムをご紹介します。

会場入口からの見え方や人の流れ、アテンド方法の検討など紙の図面上では検証しづらいあらゆるシミュレーションを、360度様々な角度から確認できるパースムービーで検証可能。

出展小間位置での最適で効果的なブース造作の提案をご紹介します。

▶イベント総合EXPO

#五感に訴求

<担当者からのメッセージ>
「予算の大きい展示会出展、成功させたいがどうしたらいいのかわからない・・・」そんなお悩みを解決できるツールをご紹介します！皆様のご来場お待ちしております。
(ブランディング課 東京 MICE チーム 岩崎 玖瑠実)

Real & Virtual Experience Provider

ゼロからデザイン & プロデュースします

映像・音響・照明・ICTソリューションなど様々な技術を融合した総合コンテンツパッケージをご提供いたします。Real & Virtual Experience Providerとして、リアルとバーチャルの両面から新たな価値を創造します。

SYMUNITY GROUP

SYMDIRECT TAKENAKA TEP. S. ARK VENTURES Tasc Service SymX Inc. PRESSTONE

展示会・イベントの持続可能な未来を目指して

国内最大級のディスプレイ製作スタジオ

ワンストップの製作体制を完備

- プロジェクト企画
- デジタル施策
- 装飾・施工
- イベント運営
- 空間設計
- ビジュアルデザイン

株式会社昭栄美術
〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー25F TEL:03-5148-6651

18-11

株式会社トーガシ
イベントで会社を強くする



ブースイメージ

▶イベント総合EXPO #イベントDX

<導入実績> 「ライフサポートエガワ様 60周年記念イベント」、
「WOODコレクション(モクコレ)2023」、「外国人留学生エキスポ」など

トーガシは「周年事業/企業イベント」「展示商談会/企業プライベートショー」「カンファレンス/企業プレゼンテーション」をはじめとしたイベントの基本設計から計画立案・企画制作・設計デザイン・会場装飾・運営管理など、イベント全般をサポート。

今回のLIVEnt・イベント総合EXPOでは「イベントで会社を強くする」をコンセプトに、弊社が手掛けてきた実績のご紹介とともにお客様に合わせたイベントをご提案する。

株式会社トーガシ ハイブリッドセミナー(予定)

「ぼくらがイベントをやる理由」

#1 6/28 (水) 14:00 ~ 14:45

【出演者】

スターツ出版 (株) オズマガジン・メトロミニッツ編集長/古川 誠氏
(株) MICE 研究所 代表取締役/田中 力氏

#2 6/29 (木) 14:00 ~ 14:45

【出演者】

(株) プライマルヴェニュー イベント・プロモーション本部 第3制作部 プランナー/
佐藤 伶氏
(株) MICE 研究所 月刊イベントマーケティング編集長/樋口 陽子氏
(株) トーガシ 事業戦略本部 Meeting&Event 事業部 部長/山崎 一徳

#3 6/30 (金) 14:00 ~ 14:45

【出演者】

(株) 三栄 GO OUT CAMP・GO OUT JAMBOREE 統括ディレクター/深作 雄司氏
(株) MICE 研究所 月刊イベントマーケティング編集長/樋口 陽子氏
(株) トーガシ クリエイティブ本部 広報・マーケティング課 マネージャー/小杉 将史

*変更の場合があります



<担当者からのメッセージ>

ブースでは「ぼくらがイベントをやる理由」をテーマに、トークセッションを開催。本誌を発行するMICE 研究所・田中氏や人気イベントを手掛ける出版社を招き、生の声をお届け！
(アカウント事業本部 東日本事業部 営業開発課 リーダー 見並 慎)

19-31

飯田電機工業株式会社
展示会から博覧会まで照明を演出します



▶イベント総合EXPO

弊社ブースでは何も見せる物は展示致しません！来場された方が弊社ブースを見てイメージされた事を現実に実現出来る様、お手伝い致します！

<担当者からのメッセージ>

お越しいただいた方にはお茶をご用意しておりますので弊社ブースで休憩して頂ければ幸いです！(イベント事業本部)

<導入実績> 「日本能率協会各展示会」「モーターショー」、「ギフト・ショー」「RX Japan各展示会」、
「六本木けやき坂イルミネーション・毛利庭園周辺」、「アレグリア」、「東京マラソン」、
「大阪万博」、「G7広島サミット2023」など

月刊イベントマーケティング
相談相手になる専門メディア



「Face to Faceを科学する」

EVENT
MARKETING

▶イベント総合EXPO

<担当者からのメッセージ>

会場内の取材巡り、トーガシさんブースでのハイブリッドセミナー登壇などで、ブースに不在の場合は、Twitterにてメンションください！

@EventMarketingN
(編集部 樋口陽子)

<導入実績> 「BACKSTAGE」、「CATERING LIVE Tokyo」、「新規会場内覧会コンテンツの企画・共催」、「DIVE DIVERSITY SUMMIT SHIBUYA (2017、イベントガイド制作)」など



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

イベントテクノロジー特集

次の6月30日号で特集します

テクノロジーに愛されたワタシ♥



- 7月31日号 集客の戦略・ツール 空間デザイン
- 8月24日号 BACKSTAGE
- 9月30日号 イベント業界の人材
- 10月31日号 創刊100号記念

広告出稿の問合せはこちら ▶ 株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当：田中力)

主催者インタビュー

LIVeNT 2023 の舞台裏



喜びと感動を生み出すイベントづくり

全国からプロモーターや音楽事務所、演出会社、イベント主催者や企画会社、企業の宣伝・販促、eスポーツ主催者などを集め、多数の商談の機会を提供する LIVeNT 2023。事務局長の下田アトムさんに、その集客力の源となっている RX Japan の取り組みや今回の見どころについてうかがった。

RX Japan 株式会社 LIVeNT 2023 事務局長 下田アトムさん

この数年イベント業界は厳しい状況でしたが、ようやく回復してきました。5月8日には、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行し、さらに復調のスピードが増しそうです。こうした時期に、これまで以上に業界に貢献するために、名称を Japan Event Week から LIVeNT へとリブランディングをしての開催となります。

LIVeNT というのは、3つの構成展示会であるライブ、eスポーツ、イベントを合わせた造語です。eが小文字なのは、eスポーツのeを表しています。展示会の構成はとくに変わってはいませんが、私たちにとって直接の顧客である出展企業だけでなく、イベントに参加する人たちがイベントによって喜びと感動を得られるように貢献していきたい、それが私たちの新しいミッションだと考えています。

各分野それぞれのアフターコロナ

LIVeNT を構成する、ライブ・エンターテインメント EXPO、イベント総合 EXPO、eスポーツビジネス EXPO のそれぞれの分野で、市場回復の現状や、コロナ前後での開催方法の変化が異なり、LIVeNT での出展の仕方にも表れていると思います。

ライブ・コンサートの分野では、XR の演出や遠隔地からの参加など、オンラインの良さが参加者にも認識され、リアルとオンラインが共存していくのではないのでしょうか。そのなかで、オンラインでは難しかったグッズ販売などのマネタイズの部分やファンエンゲージメント、チケットティングなどの新しいエンターテインメントの在り方を支えるソリューションが充実しているようです。一方で久々のリアル開催を盛り

上げる、演出機器も注目されていて、欧米企業の大型演出機器も多く出展される予定です。

イベント総合 EXPO の分野では、BtoB、BtoC ともに、オンラインやハイブリッドよりもリアルに戻る傾向が強いように感じています。Face to Face で人と人の出会いを効果的につくりだすための仕組みや空間づくり、販促グッズ、企画制作などリアルイベントを支援する企業が積極的に活動してくれそうです。またインバウンド系イベントも開催できるようになり、自治体や訪日観光関連の企業も活性化しています。

eスポーツの分野はコロナからの復調というよりも、大きな可能性がある成長分野といえるでしょう。イベント開催による地方創生、教育分野での活用など、その発展性の高さをどう具現化するか。どこにビジネスチャンスがあるのか、業界関係者と意見交換する場にもなっていきたいです。

変革期乗り切れるためのセミナー同時開催展との相乗効果

イベントの在り方は以前のかたちに戻るといだけでなく、オンライン時代を経て参加者のイベント参加の仕方は新しく多様化し、それに伴いビジネスモデルも変わりつつあると思います。

そうした時代の変化を乗り越えるために、さまざまな知見を共有したいという、業界関係者の要望に応えるため、セミナーの実施にも力を入れています。

ライブ・エンターテインメント EXPO では、Z世代の視聴体験・音楽との触れ合いが大きく変わってきた Z世代のファン化、サブスク時代のマーケティング戦略、海外進出の方

向など、音楽業界の新しい形に合わせたトピックの講演を多数用意しています。

イベント総合 EXPO では、企画演出と集客という2軸で、成功事例からヒントを得るものなどが人気です。

eスポーツビジネス EXPO は、キープレイヤーであるゲーム会社や企画会社のビジネスモデルや最新事例を共有して、多くの人にこの分野に参画してもらえらるための業界理解などで展開します。

LIVeNT 2023 の会期である6月28日から30日は、同じ東京ビッグサイトで、Japan Sports Week、自治体・公共 Week、レジャー&アミューズメント EXPO (AMLEX) を同時開催します。そちらにもライブ・イベントに活用できるものは、多く出展されますし、LIVeNT にもイベント以外に活用できるものも多くあるでしょう。イベント関係者だけでなく多くの方にご参加いただきたいですし、同時開催展も観るために、1日だけでなく複数日視

察できるように日程を組んでいただくことをおすすめします。

RXらしい展示会づくり ヒアリングと要望に応えること

田中社長体制に移行し、社名変更、今年4月にはミッドタウン八重洲の新オフィスに移転と、この数年当社は変化しているのですが、根本の部分である私たちの仕事のスタンスは変わっていません。シンプルに出展企業に喜んでいただくため、売上拡大と業界発展につくすという1点です。変化している点は、今までよりも出展社、来場者の方の期待を超えたい、展示会場でワクワクしていただきたいという想いがより一層強くなったことかなと思います。空間演出などもファンになってもらうためには何が出来るか?という観点で試行錯誤行っています。

展示会の中身に関しては、同じことを同じようにやっていくということではありません。業界の状況やトレンドは常に変わっていきますので、その要望に対応していくために、常にヒアリングを行ってなにか求められているかを把握し、展示会に反映させていきます。ヒアリングという形式でなくても、普段の会話のなかにもヒントがたくさんあり、それを社内で共有して常に顧客志向で動いています。

来場者動員に関しても、多くの来場者にお越しいただくための最適なアプローチを行っています。

出展企業のため、業界発展のために軸を変えずにつきつめていくことが、私たちの強みだと考えています。



昨年の会場の様子 (Japan Event Week 2022)

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。



飯田電機工業株式会社

<http://www.iidae.co.jp/>

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21 TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 幕張ビル TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内 TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827

70

100%

LIVeNT の配線設計・電気工事の準備もバッチリできてる?

もちろん! スポーツイベントだけでなく、展示会の電気工事もうチの得意分野ですから。

電力

処理能力 需要

“お陰様で70周年”

株式会社 鈴木電機

〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX 03(3845)3040
URL : <http://www.suzukidenki.co.jp>

TOP INTERVIEW



空間創造事業が太い樹の幹ならば、
新規事業は太い幹が育んだ
枝に芽吹く新芽のように育てていく

株式会社丹青社
代表取締役社長

小林 統 氏

<小林統氏プロフィール>

1959年長野県出身。1983年法政大学経済学部卒業後、1984年株式会社丹青社入社。専門店の商業空間づくりから始まり、大型商業施設、テーマパークをはじめとしたエンターテインメント施設のプロジェクマネジメントを担当。そのほか、万博や企業プロモーションなどのイベントに関するプロジェクトにも携わり、幅広い分野での経験を積む。営業部門、営業企画部門の部門長を経て、2008年IMC(Integrated Marketing Communication) 事業部事業部長、2015年CS(Commercial&Communication Space) 事業部事業部長などを歴任し、マネジメント層として提供価値の向上に注力。2016年取締役等を経て2023年4月より現職。

4月26日付で株式会社丹青社の代表取締役社長に就任された小林統氏に、ディスプレイ業に対する想いや、新規事業への取組みを踏まえたこれからの同社の姿について語っていただいた

——1984年の入社以来、幅広い分野に携わられています

小林 事業領域含め、いろいろな経験をさせてもらっています。当社は空間づくりのプロフェッショナルとして、専門店や複合商業施設などの商業空間、博物館・美術館などの文化空間、オフィスなどのビジネス空間、ホテルやクリニックなどのホスピタリティ空間、空港や駅などのパブリック空間、そして万博や大型展示会などのイベント空間といった領域に携わっています。振り返ってみると、文化空間の部署への所属はありませんが、企業ミュージアムを担当した経験があるので、ほぼ全領域に関わってきたといえます。

——思い出深いプロジェクトは

小林 それぞれ想いは深いのですが、なかでも定期的に開催される万

博は私のキャリアの中でも影響はかなり大きいものでした。入社翌年の1985年に開催されたつくば科学万博では、万博会場内の飲食店舗を担当しました。2005年の愛知万博は当時所属していたイベント空間領域をメインとする部署にとってはビッグイベントで、その際は営業責任者を務めました。上海万博、ミラノ万博、ドバイ万博でも日本からの出展を継続してサポートしています。

——2025年大阪・関西万博への想いもひとしおでしょうか

小林 1970年の大阪万博は当社をはじめディスプレイ業界全体を大きく発展させました。そのような経緯もあり、2025年大阪・関西万博では次世代の社員にいかに関わりを深めたいか、体制づくりが重要と考えています。

特に万博は各国も企業も、未来を占うような新しい技術を展示します。非常に勉強になりますし、われわれも研究しながら対応する必要があります。空間づくりの技術や創造力を高めていくという点で影響が大きいのです。

——空間創造事業の広がりや可能性について、事業展開としてはどのように考えていらっしゃいますか

小林 社会から求められることというのは基本的には課題解決であることが多いと思います。

その一つとしても、空間創造事業を通じた環境配慮、CSRの活動は充実させてきました。環境マネジメントシステム ISO14001 認証は業界でもいち早く2001年に取得し、その点ではリーディングカンパニーと自負しています。

新規事業に関しては、空間創造事業が太い樹の幹ならば、新規事業は太い幹が育んだ枝のように、別の樹ではなく延長線上にあるものと捉え、育てていくもの。現在、芽吹いてきているものでは、例えば廃番品専門のECサイト「フォーアース(4earth)」運営事業があげられます。また、最近では古民家・古木活用企業との業務提携による古木の空間づくりへの活用促進にも取り組み、サステナビリティへの貢献を進めています。

こうした事業の根底には人にとって新しい、楽しいものへの感動があります。

“こころを動かす空間創造”を標榜する当社としては、社員に対しても成長でき、その成長を共有できる、楽しく働ける場所であるよう、人を大切にすることを考えていく企業でありたいと思います。

イベーター・マーケター向け
6月のセミナー・イベント

※5月20日時点の情報です。変更の可能性がありますので、必ずご確認ください。

2・3日
第42回横浜開港祭
@パシフィコ横浜

5～9日
第3回デジタル化・DX推進展
@オンライン会場

6・7日
PHOTONEXT2023
@パシフィコ横浜

8・9日
関西ロボットワールド2023
@インテックス大阪

防犯防災総合展2023
@インテックス大阪

日経クロステックNEXT 関西2023
@グランフロント大阪
コングレコンベンションセンター

8～11日
東京おもちゃショー2023
@東京ビッグサイト

10日
WOMAN EXPO 2023
@渋谷ヒカリエ ヒカリエホール

14～16日
第6回EDIX(教育総合展) 関西
@インテックス大阪

Interop Tokyo 2023
@幕張メッセ

画像センシング展2023
@パシフィコ横浜

インテリア ライフスタイル2023
@東京ビッグサイト

15～17日
第37回オートサービスショー2023
@東京ビッグサイト

15～18日
東京国際消防防災展2023
@東京ビッグサイト

19～23日
カンヌライオンズ国際クリエイティ
ビティ・フェスティバル
@カンヌ

20・21日
フューネラルビジネスフェア2023
@パシフィコ横浜

21～23日
第35回日本ものづくりワールド
@東京ビッグサイト

第7回“日本の食品”輸出 EXPO
@東京ビッグサイト

INTERMOLD名古屋/金型展名古屋
@ポートメッセ なごや

22・23日
マーケティング・テクノロジーフェア
大阪2023(第5回)
@OMM 展示ホール

26～28日
Japan Drone 2023
@幕張メッセ

28・29日
日経クロステックNEXT 名古屋
2023
@吹上ホール

28～30日
LIVeNT 2023
@東京ビッグサイト

Japan Sports Week 2023
@東京ビッグサイト

コンテンツ東京2023
@東京ビッグサイト

<訂正とお詫び>

2023年4月30日発行の月刊イベントマーケティング94号7面左の「展示会開催宣言」記事内において、見本市の名称をビューティワールド ジャパンと記載しましたが、正しくはビューティーワールド ジャパンです。訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

おかげさまで創刊7周年

愛されるイベマケから
業界のみなさんを愛するイベマケに

株式会社 MICE 研究所
月刊イベントマーケティング編集部
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-4
Tel: 03-6721-5303 / Fax: 03-6721-5704
https://www.event-marketing.co.jp

「2023 年度 JACE イベント資格・検定」前期受付中

—日本イベント産業振興協会

イベントの専門的な実務能力を客観的に証明する資格制度「イベント業務管理士2級」の前期試験及び「イベント検定」、「スポーツイベント検定」、「ユニバーサルイベント検定」の3つの検定が申込受付中だ。

2023 年度 JACE イベント資格・検定は、経済産業省の推進する施策と関連し、後援すべきと認められるものとして経済産業省後援事業となっている（個々の資格保有者の能力を経済産業省が保証するものではない）。

全国約 360 のテストセンターで、7月1日から7月31日までの1ヶ月間、受験者の都合に合わせた場所・日程で受験できる（申込は試験日の3日前まで。3日前以前であればキャンセルや振替も可能）。また、合否は即日発表、複数受験も可能。

「イベント業務管理士2級試験」は、イベントのアシスタントディレクターを想定し、イベントの企画から制作まで、実務知識や共通スキルを有することを認定する資格となっており、対象は実務経験が3年以上（アルバイトでの経験も含む）であれば受験

可能。100問。選択式で、試験時間は120分。

「イベント検定」はイベントの基礎知識を体系的に身につける検定、「スポーツイベント検定」はスポーツイベントに関する知識やスキルを評価する検定、「ユニバーサルイベント検定」は高齢者や障がいがある人も含め、誰もが楽しめるイベントにするための基礎知識、スキルを評価する検定となっている。検定は実務経験を問わず、誰でも受験可能だ。50問。選択式で、試験時間は60分。

「2023 年度 JACE イベント資格・検定」前期受付は7月28日まで。なお、「イベント業務管理士1級」資格試験は、イベントの実務5年以上の経験があり、かつイベント業務管理士2級合格登録者であることが必要。試験・検定のテキスト購入、対策セミナー、試験申込は、専用サイトへ。

▼専用サイト（資格）



▼専用サイト（検定）



各3名様



読者プレゼント <各3名様>

試験対策やイベント業務知識のおさらいに活用できる「イベント業務管理士1・2級共通 公式テキスト」、「ユニバーサルイベント検定公式テキスト」をそれぞれ3名様にプレゼント。上記 QR コード、または「yoko-higuchi@event-marketing.co.jp」宛に件名【プレゼント応募】として、本文に「郵便番号」「住所」「氏名」「(上記よりいずれかの)欲しいテキスト名」「職業」「応募動機」をご記入の上、メール送信ください。（応募締切：6/15。抽選制。発送をもって発表に代えさせていただきます）



展示場「有明 GYM-EX」開業式典に小池都知事も



上) 有明テニスの森駅から外観が見える有明 GYM-EX
左下) 展示場は木造アーチ構造で 9400㎡の無柱空間に
右下) 開業式典には小池百合子東京都知事も参列

5月18日、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの競技場跡地に、大型展示場「有明 GYM-EX」(有明展示場)が開業した。

東京 2020 大会で体操競技、新体操、トランポリン、ボッチャの会場として使用された有明体操競技場を改修したもの。展示面積 9400㎡(約 79m × 約 119m) 天井高 20 m、床荷重 5t/㎡。1階展示場、主催者事務室 1、控室 2、会議室 4 を含む、地上 3 階建の建造物。

建築上の特徴は外装や内装に木材がふんだんに使われていること。展示場は、世界最大級の 90m におよぶ鉄骨を使わない木造アーチ構造の梁で屋根を支える無柱空間。施設内のベンチは競技場に設置されていた木製観客席を再利用している。

1階にはオリンピック選手たちが平和への祈り込めてサインをした休戦ムラールも展示されている。

開業式典には、小池百合子東京都知事や三宅しげき東京都議会議長ら

が出席。小池都知事は「施設の愛称『有明 GYM-EX (ジメックス)』は、地名の有明、体操競技場であった経緯を示す (GYMnastics) と展示会 (EXhibition) をつなげた言葉。大会のレガシーと展示場としての新たな未来とが会える素敵な場所になって欲しい。産業基盤を支える中小企業が活力を取り戻し、持続的な成長が大切な時代に、DX 化の流れを取り入れながらリアルな展示会がより一層重要な役割を担う」と施設にかける想いを語った。また、周辺3校の学生による吹奏楽演奏や、翌日から2日間施設見学会を行うなど、地域交流も行われた。

有明テニスの森駅から徒歩 5 分。既存の展示会場東京ビッグサイトからは徒歩 24 分の距離となっており、別の展示場としての扱いとなる。

運営会社である株式会社東京ビッグサイトの展示会場運営のノウハウを活かしつつ、展示会利用のみでなく、イベントなどの利用も期待できる。

Pick up the Words!

NewsPicks for Business のイベントプロデューサーは元フジテレビ報道局デスク

テレビ局時代に経済部でスタートアップ企業への取材や、報道番組の企画にも携わっていた西村さん。記者自身がレポートすることで、説得力や熱量をもった情報を伝えてきた。豪華なセットを組んだり大人数のスタッフで作るテレビ番組と異なり、企画・取材依頼・出演とほとんどの工程を自分で行う Web は学びが多く、楽しいという。誰もが発信できる時代にその楽しさを多くの人に伝えるのがライフワーク。NewsPicks に移り、コンテンツを起点に企業のビジネス上の課題を解決することが仕事になった。そのなかで行っている、イベントを活用した場づくりとゴール設定などを語った。



西村 昌樹さん



フジテレビ報道局で経済記者やデスク、番組ディレクターを務める。2022年8月に AlphaDrive / NewsPicks に参画。2023年1月からは大企業とスタートアップのオープンイノベーション支援の橋 UNIDGE のデスクを務めるとともに、NewsPicks for Business のイベントプロデュース部門で企業のイベント企画や運営を手掛ける。



月刊イベントマーケティングの公式 YouTube チャンネルでは、イベント関連のキーパーソンをゲストに招いて「コースケ・よーこのミュートを解除!」を毎週金曜日の 12 時から 30 分間お届けしています。5月のゲストは、19日トウギャッターまとめ職人 Journeyman さん、26日 Takeoff Tokyo アンティ・ソンニネンさん。

Venue Event Community

集い、交わる場（中規模スペース・ベニュー/イベント主催者）を企画・運営するひとたちが集まって、べちゃくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

YouTubeチャンネル

はじめました

イベントマーケティング

コンセプト・ロゴとシンボルコンテンツ発表

～ 1000 人同時体験大型没入シアターや総額 1000 万円ピッチコンテストも

—JAPAN MOBILITY SHOW 2023

一般社団法人日本自動車工業会は、10月26日から11月5日まで、東京ビッグサイトを中心に開催する「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」(旧:東京モーターショー)のコンセプトおよびロゴを発表した。ショーコンセプトは「みんなで一緒に未来を考える場」とし、FUTURE、GREEN、DREAM のキーワードを軸に展開する。

また、新生ショーではモビリティの枠を超えとし、3つのシンボルコンテンツの情報を開示した。内容は、広大な会場で未来の街を表現した「Tokyo Future Tour」、日本最大級のピッチコンテスト & アワードを開催する「Start up Future Factory」、日本の未来をつくるトークショー「Japan Future Session」。

「Tokyo Future Tour」では、1000 人同時体験の大型没入シアター体験後に、「LIFE」、「EMERGENCY」、「PLAY」、



「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」のテーマロゴ

「FOOD」とモビリティの各テーマごとの未来の街を体験できる。5月24日時点で、経団連モビリティ委員会から56社の参加が決定している。

「Start up Future Factory」は、ピッチコンテスト & アワードやビジネスラウンドテーブルなど、幅広い企画を検討。賞金総額1000万円超と日本最大級の資金を用意し、分野を問わずスタートアップ企業からの参加を募集。6月下旬に開始予定で約100社ほどを目標にしているという。

「Japan Future Session」は、カーボンニュートラルやモータースポーツなど、モビリティにまつわる関心高いテーマでのトークショーを開催。モビリティのダボス会議を目指す。

東京モーターショーから改称し、モビリティの枠を超える新生ショーのスタートとなる今回、モビリティ産業界550万人をベースに新しい仲間と、モビリティ×エンターテインメントの祭典として、100万人の参加を目指す新たな国民的イベントへ。どんな世界が待っているのだろうか。

行幸通りに7万本の花で描いた花絵咲く

～ピカチュウも駆けつけ完成祝う

—TOKYO FLOWER CARPET 2023

5月20日から22日までの3日間開催された「TOKYO FLOWER CARPET 2023」および「KIDS FLOWER GARDEN」では4作品の華やかな花絵と東京都特別支援学校の生徒たちが描いたデザイン10作品が花絵で再現され、計14作品が行幸通り(千代田区丸の内1)を飾った。花びらの鮮やかな色彩や色砂による繊細な表現、そして風に運ばれてくるバラの香りとともに、花絵の魅力が堪能する姿が見受けられた。

今回は、メイン作品として浮世絵師歌川国芳の作品「猫のすずみ」を題材に、日本画家の塩崎顕氏がピカチュウの舟遊びにアレンジした「ほ



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc

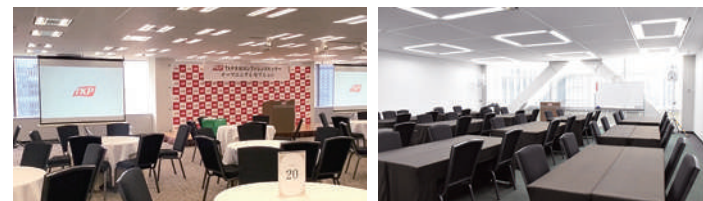
けもんのすずみ」(写真)を描き下ろし、他の作品同様にボランティア参加者らが花絵を制作した。会場には好きなポケモンキャラクターを

手に作品とともに記念撮影をする姿も。セレモニーにはオスとメスのピカチュウも駆けつけ、作品の完成とイベントの開催を祝った。



1年間で1万坪会議室を開業 需要を見据えた積極出店

—ティーケーピー



4月28日に開業した「TKP 赤坂カンファレンスセンター」(写真左上)。5月9日開業し初の東京駅直下となる「TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央」(写真右上)。株式会社ティーケーピー代表取締役 河野貴輝氏(写真下)

貸会議室・レンタルオフィスを展開する株式会社ティーケーピーでは、4月28日に「TKP 赤坂カンファレンスセンター」を、5月9日に「TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央」を続々と開業。回復しつつあるイベントスペース需要を見据えた積極出店で、コロナ禍で受けた厳しい状況の巻き返しを図る。

4月28日開業の「TKP 赤坂カンファレンスセンター」は、赤坂駅徒歩5分の赤坂パークビル13階に位置し、契約面積は2000㎡で、1フロア1000人超の規模となる。

また、5月9日開業の「TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央」は、JR各線東京駅直結の丸の内中央ビル12階に、契約面積1559㎡で全11室のオフィスバンケット・ホール・会議室を備える。

5月9日、「TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央」のオープングレセプションでは、前日に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたことを受け、マスクを取り関係者を迎えた。

合わせて行われた記者会見で、株式会社ティーケーピー代表取締役の河野貴輝氏は、「今年1年間で1万坪の新規会議室を開業する」と、反撃開始を宣言。ドミナント戦略として、東京駅、品川駅といった新幹線の停車駅を中心に広げていくとした。

こうした戦略のなか、「TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅丸の内中央」は、ティーケーピーにとって初の東京駅直下のビルでの出店となる。現在、同社では東京駅エリアに1400坪会議室をもつが、ここを皮切りに、6月に「TKP 東京駅カンファレンスセンター」、「TKP ガーデンシティ PREMIUM 東京駅日本橋」とオープンし、東京駅エリアだけでも2ヶ月間で合計3400坪へと、2.42倍のスペース拡大を進める。

今年4月から新入社員研修需要は戻ってきており、河野代表は、高付加価値な人材育成や社内チームビルディング、企業同士のコラボなど、シナジーを生むことが重要とし、「その基盤となる空間をプロデュースできる存在でありたい」と語った。

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングと
オフラインを組み合わせて
販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー

▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして
異業種のトレンドを知り
講演会に活かしたい

IT企業向け マーケティングサポーター

▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わる
テクノロジーやツールについて
情報収集したい



特集

イベントマーケティングのトレンドを
国内外の事例や動向から分析し、
メーカー・イベントの
皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールや
テクノロジーの最新情報、
開催直前概況・
事後レポートなどを
紹介します。



コラム

幅広い視野と独自の視点、
経験をもつ
著名人が執筆します。



インタビュー

リアルコミュニケーションを
楽しくをテーマに
話題の方々ほか、インバナー、
イベントメーカー、
主催者の声を収録。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、
効果最大化の手法など、
face to faceを科学する
レポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所:株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp

